

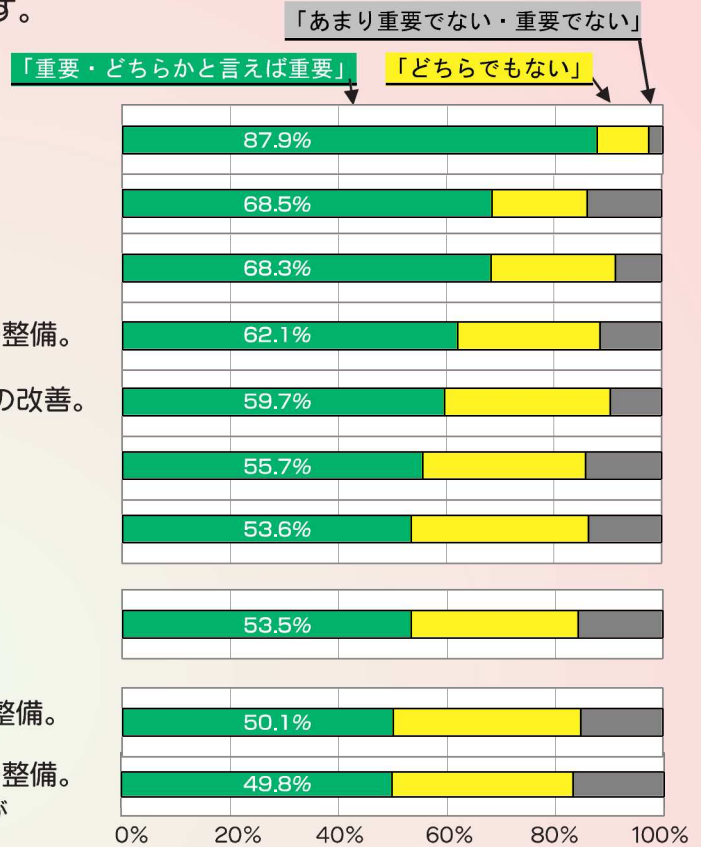
●TOS(Think Our Street推進委員会)では、これからのみちづくりのあり方を考えるために、皆様にアンケートを行いました。

○平成19年4～5月に、TOS推進委員会を構成する全国27都市で実施。  
○配布数 3,400部。回収 578部(回収率17%)

○道路や交通の改善のためにやっている内容のうち、今後重要だと思うものについて聞きました。

・今後重要だと思う割合の高い内容は次のとおりです。

- ① 安心のため、歩道を広げたり段差をなくす。
- ② 歩きやすさや街並みに配慮して、電柱をなくす。
- ③ 自転車が安心して通ることができる道路の整備。
- ④ 都心を通る車を減らす、環状道路・バイパス道路の整備。
- ⑤ 乗換えが便利になる、駅前広場やバスターミナルなどの改善。
- ⑥ 路面電車など、車に頼らない公共交通の整備。
- ⑦ 踏切を取り除く、道路と鉄道の立体交差。  
・大都市及びその近郊都市※1では69%、地方の都市では49%
- ⑧ 街路樹や植樹帯など、環境に配慮した道路の整備。  
・大都市及びその近郊都市では67%、地方の都市では49%
- ⑨ にぎわいあふれる、歩いて楽しい歩行者中心の街路の整備。
- ⑩ 郊外の駅周辺に乗換用(パークアンドライド)駐車場の整備。  
※大都市及びその近郊都市と地方の都市で、特に大きい差異があった設問のみ、その差異を記しています。



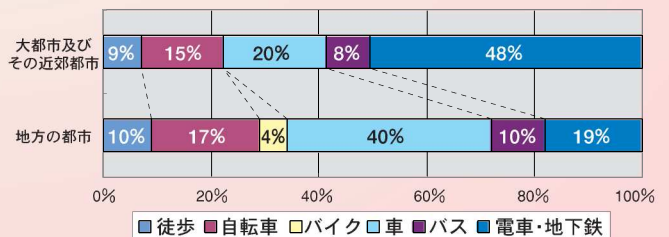
**ポイント**

安全・安心に繋がる内容や環状道路・バイパス道路の整備、及び公共交通を使いやすくする内容が今後重要だと思われています。また、大都市及びその近郊都市では道路と鉄道の立体交差や環境に配慮した道路の整備も重要だと思われています。

※1「大都市及びその近郊都市」等の主な移動手段について

平日の主な移動手段について、大都市及びその近郊都市では、電車・地下鉄・バスの利用が全体の約6割と多く、自動車が約2割と少ない。一方、地方の都市では、電車・地下鉄・バスの利用が全体の約3割と少なく、自動車が約4割と多い。このように、大都市及びその近郊都市と地方の都市では、主な移動手段が異なるため、それぞれの都市の状況に応じた道路や交通の改善が必要です。

主な移動手段(平日)



※大都市及びその近郊都市…大都市 - 3大都市圏の政令指定都市等(東京都区部、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、名古屋市、大阪市、京都市、神戸市、堺市)；その近郊都市 - 首都圏整備法による既成市街地及び近郊整備区域、近畿圏整備法による既成都市区域及び近郊整備区域、中部圏開発整備法による都市整備区域内の都市で前記大都市以外の都市

地方の都市…上記以外の地方の都市